

安全なキャンパス生活のために



新型コロナウイルスから身を守る



農 東京農業大学

- 「新型コロナウイルスはどんなウイルス？」
- 「ウイルスを蔓延させないために」
- 「登校前には これをぜひ！」
- 「キャンパスでは ここに注意！」
- 「知っておきたい」

「日常生活も 大切に」
「感謝しながら」



■ 「新型コロナウイルスはどんなウイルス？」

日本での新型コロナウイルス感染症蔓延

2019年12月 中華人民共和国湖北省武漢市において確認

2020年

- 1月15日 日本国内での新型コロナウイルス感染症第一例目確定
- 4月07日 7都府県で、16日には全都道府県で緊急事態宣言発出
- 4月10日 世田谷、厚木、北海道オホーツクの3キャンパスの閉鎖
- 5月11日 遠隔授業の開始
- 5月14日 39県で、25日に全都道府県で緊急事態宣言の解除

「IDWR 2020年第27号＜注目すべき感染症＞ 国内における新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の状況」参照

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/corona-virus/2019-ncov/2487-idsc/idwr-topic/9746-idwrc-2027.html>

■「新型コロナウイルスはどんなウイルス？」

1. 国内の状況(8月 日現在)

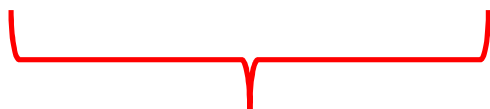
検査陽性者29,382例

(国内事例28,851例、空港検疫516例、チャーター便帰国者事例15例)

2. 東京都における新規感染者数(8月 日現在)

総数 295名 (濃厚接触者 130、海外渡航歴 0、調査中 165)

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明
6	14	119	66	48	27	7	6	2	0



学生・院生世代の感染者が多くなっています。

厚生労働省HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_12623.html

東京都HP (第595報) 新型コロナウイルスに関連した患者の発生について

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/_res/projects/default_project/_page/001/009/968/2020072501.pdf

■ 「新型コロナウイルスはどんなウイルス？」

今、流行しているのは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）
その原因となっているウイルスは、SARS-CoV-2

科	コロナウイルス科		
属	ベータコロナウイルス属		
ウイルス	MERS	SARS	
	Middle East respiratory syndrome-related coronavirus	Severe acute respiratory syndrome-related coronavirus	
	中東呼吸器症候群コロナウイルス	重症急性呼吸器症候群コロナウイルス	
病気の名前	MERS-CoV	SARS-CoV	SARS-CoV-2
	MERS	SARS	COVID-19
発生年	2012	2003	2019

SARS-CoV-2の命名
ウイルスの種類
ウイルスの命名

<https://www.nature.com/articles/s41564-020-0695-z#Sec3>
Virus Taxonomy: 2019 Release: <https://talk.ictvonline.org/taxonomy/>
<https://www.nature.com/articles/s41564-020-0695-z/figures/>

■ 「新型コロナウイルスはどんなウイルス？」

どうやって感染しますか？

野生動物が感染源として推測され、武漢市内で動物からヒト、ヒトからヒトへの感染が広がったと考えられています。



感染している人 の咳や会話によって生じる「しぶき」を吸入したり（飛沫感染）、ウイルスが含まれる喀痰や唾液などに接触した 手で口や鼻、目を触ったり（接触感染）することで感染します。

さらに、エアロゾルが発生し、空気感染する可能性も指摘されています。

日本医師会 新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド（第2版2020年5月29日）より

http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/shinryoguide_ver2.pdf

■ 「新型コロナウイルスはどんなウイルス？」

どのような症状がでますか？

典型的な初発症状はありません。

発熱、乾いた咳、頭痛、筋肉痛、悪心（嘔吐なし）
が比較的多くみられます。

強い嗅覚・味覚障害、倦怠感、下痢
などを伴うこともあります。

自覚症状のない肺炎の存在も多数指摘
されています。



日本医師会 新型コロナウイルス感染症外来診療ガイド（第2版2020年5月29日）より
http://dl.med.or.jp/dl-med/kansen/novel_corona/shinryoguide_ver2.pdf

■ 「新型コロナウイルスはどんなウイルス？」

潜伏期間がありますか？

新型コロナウイルスに感染した場合の潜伏期間は、1～14日（中央値は5.1）で、確定した患者のうち97.5%が11.5日（8.2～15.6）以内に発症したと報告されています。



ウイルスの排出は、発症する**2～3日前**より始まり、**発症直後に感染力が最も強く、発症後8日で感染力は大幅に低下**すると報告されています。

鼻咽頭には症候性患者と無症状感染者とでは同等のウイルス量が認められており、無症状であっても感染力があると示唆されています。

元気だ！とか、感染したかも、と思う前からウイルスを他人に感染させる恐れがあります。マスクの着用をお願いします。

■「ウイルスを蔓延させないために」

新型コロナウイルスの集団発生防止にご協力をお願いします

3つの密を避けましょう！

①換気の悪い
密閉空間

②多数が集まる
密集場所

③間近で会話や
発声をする
密接場面



新型コロナウイルスへの対策として、**密閉空間・密集場所・密接場面**の発生を防止することが重要です。
日頃の生活の中、3つの「密」が重ならないよう工夫しましょう。



3つの条件がそろう場所が
クラスター(集団)発生の
リスクが高い！

※3つの条件のほか、**共同で使う物品**には
消毒などを行ってください。

首相官邸 Prime Minister's Office of Japan 厚生労働省 厚労省 コロナ

集団感染が生じた場の共通点を踏まえると、特に

1.密閉空間

(換気の悪い密閉空間である)

2.密集場所

(多くの人が密集している)

3.密接場面

(互いに手を伸ばしたら届く距離での
会話や発声が行われる)

部屋をこまめに換気しましょう。
また、換気が悪く、人が密に集まって
過ごすような空間に集団で集まること
を避けてください。

■「登校前には これをぜひ！」

東京都の新規感染者数増加に見られるように、新型コロナウイルス感染症の状況は改善されていません。そのため、キャンパス所在地外の
実家等からの移動や公共交通機関を使った通学については特に慎重になる必要があります。

通学が本当に必要なのか、自宅でできることはないか、担当教員ともよく相談して決めましょう。

必要であれば、保護者のご理解も得るようにしてください。

体調管理に努め、体調に不安のある時、感染した可能性があると思ったときは、登校を控えて休養してください。



■「登校前には これをぜひ！」

移動に関する感染対策

1. 感染が流行している地域からの移動、
感染が流行している地域 への移動は控える
2. 地域の感染状況に注意する
3. 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする
4. 接触確認アプリの活用も！

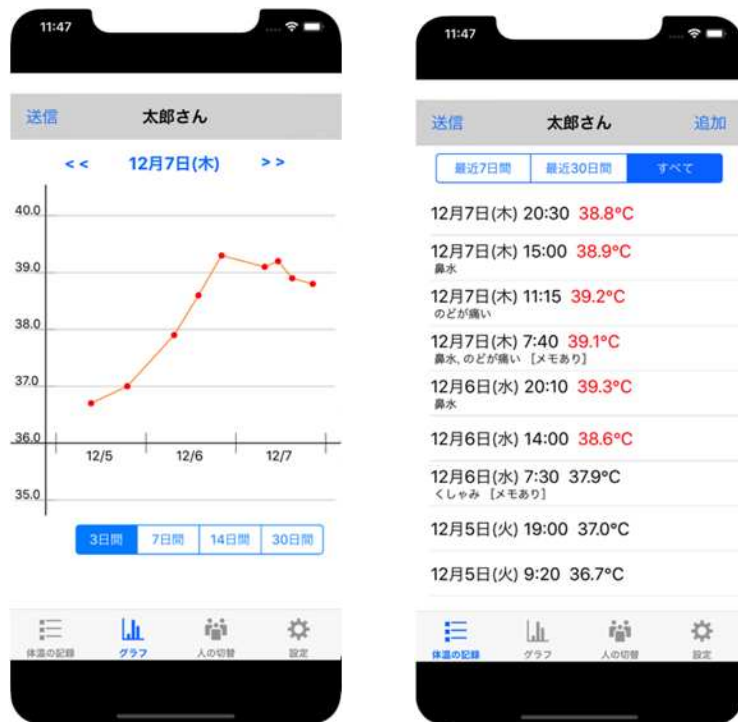
新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）COVID-19 Contact-Confirming ApplicationのDLを推奨しています。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html



■「登校前には これをぜひ！」

検温アプリ 例「熱はかった？」



毎朝、検温と体調チェックを

1. 毎朝、体温を測定し体調をチェック
2. 毎日の行動を記録

大学では、全学生に対して定期的な健康管理（アンケート調査／学生ポータル）を行うことにしています。

一人ひとりの健康に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行を行いましょう。



■「登校前には これをぜひ！」

- ☑今日は登校が必要な日ですか？
- ☑健康チェックは行いましたか？
- ☑学生証は持ちましたか？

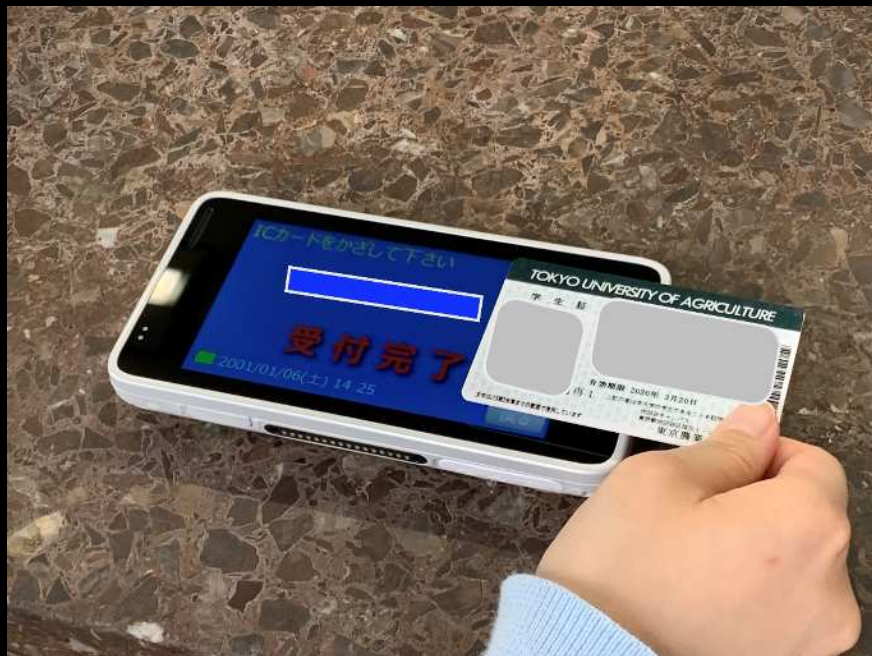
- ☑マスクやフェイスシールド、ティッシュ、
簡単な消毒用品、自分のごみを入れるポリ袋などを
持っていますか？（ウェットティッシュが役立つかもしれません。）

- ☑ラッシュアワーを避けて登校できますか？
- ☑短時間で帰宅できるよう、今日の予定や手順をまとめてから登校！

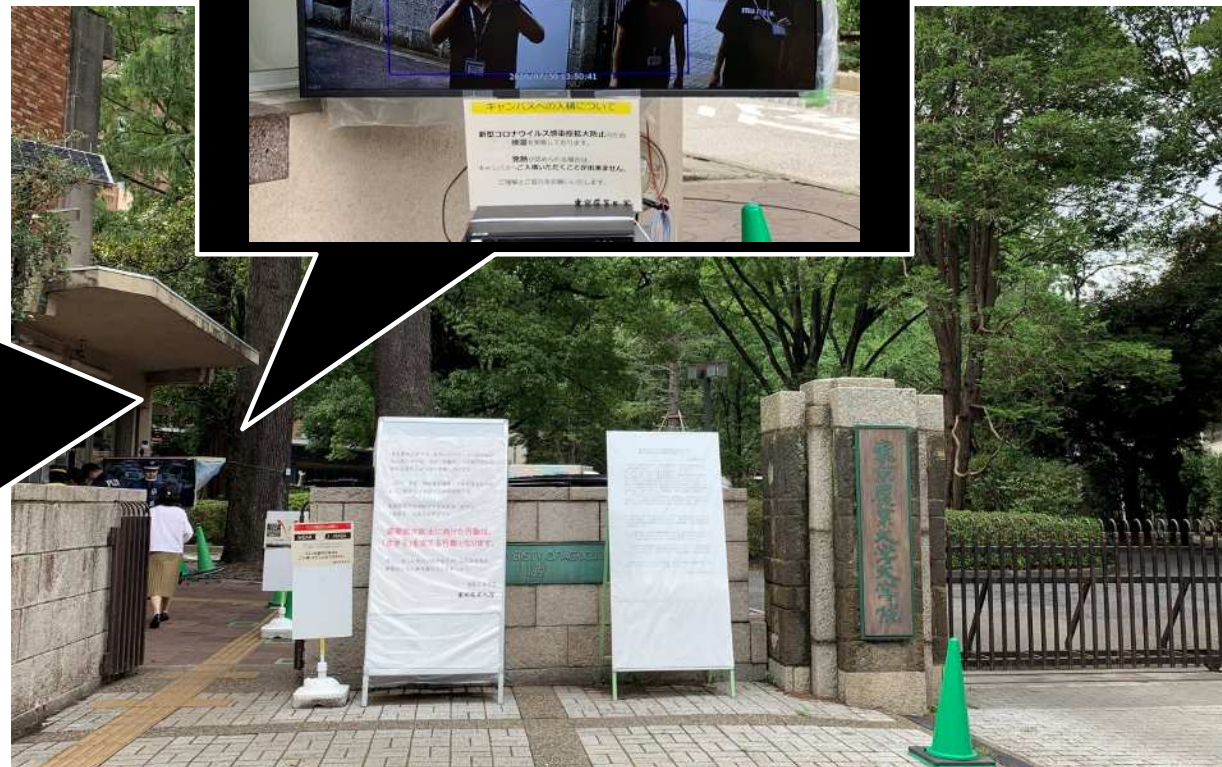


■「キャンパスでは ここに注意！」
世田谷キャンパス正門

学生証をICカードリーダーに
タッチしてください。



サーモグラフィで検温して
います。



■ 「キャンパスでは ここに注意！」

世田谷キャンパス
1号館



手指消毒



座席間隔の確保



机・椅子の消毒

世田谷キャンパス
サイエンスポート



サーモグラフィー



エレベーターの人数制限



座席間隔の確保

世田谷キャンパス
アカデミアセンター
図書館



入場時の手指消毒



対面・隣接の回避



席の消毒

■「キャンパスでは ここに注意！」

厚木キャンパス



検温



エレベーターの人数制限



手指消毒



座席間隔の確保（講義棟）



実験台の仕切り（対面回避）



■ 「キャンパスでは ここに注意！」
オホーツクキャンパス



※サーモグラフィー設置予定

検温

新型コロナウイルス感染防止対策
密集・密接を避けるため
当エレベーターのご利用は
一度に 3人 まで
ご協力をお願いいたします。



エレベーターの人数制限



手指消毒



座席の指定・間隔の確保（講義棟）



実験台の仕切り（対面回避）



■「キャンパスでは ここに注意！」

〈自然科学系研究室 実験室〉 研究室ではこのような予防策をとっています



マスク着用



フェイスシールド



白衣の着用



実験台の仕切り



器具等の消毒

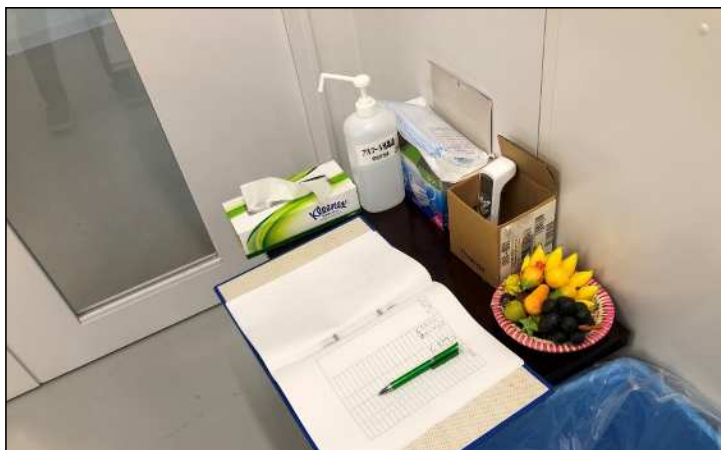


手袋の着用

■「キャンパスでは ここに注意！」

〈共有スペースおよび社会科学系研究室〉

研究室ではこのような予防策をとっています



入退室・体調管理記録



マスク着用



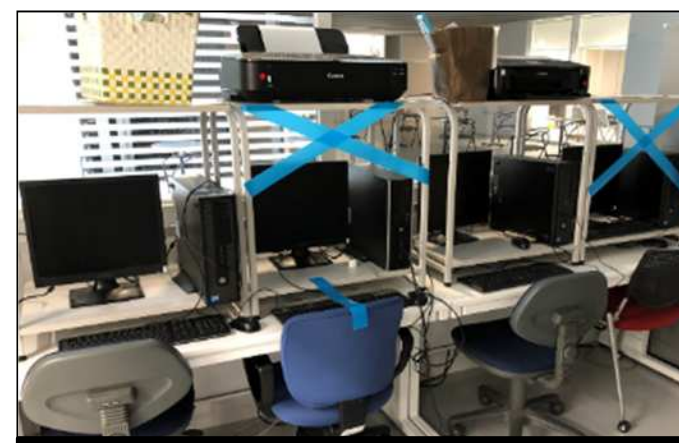
消毒用アルコール設置



机・椅子の間隔 間引き



机の仕切りパネル



PCエリアの間引き

■「キャンパスでは ここに注意！」

〈休憩室・お茶室 等〉

研究室ではこのような予防策をとっています



入退室・体調管理記録



椅子の間引き（対面回避）



パネル設置（対面回避）

■「キャンパスでは ここに注意！」
＜自然科学系研究室では＞

- 1.研究室に入室した人の把握ができるように記録をつける(濃厚接触者の特定のため)。
- 2.研究室活動以外の場所への立ち入りは避ける。
- 3.発熱や体調の悪い人は、入室せずに、健康サポートセンターに連絡して指示を仰ぐ。
- 4.研究室内では白衣を着用し作業中は可能な限り「使い捨てグローブ(手袋)」を着用する。
- 5.実験台での作業ではアクリル板(推奨)やビニールによる遮蔽措置をとる(最低限対面でなく2m間隔が取れる)。
- 6.許可された人数以上の椅子は使用できないように措置をとる。
- 7.お茶室など飲食を伴う居室では対面にならないようにし、原則、会話を避ける。
- 8.個別(培養室や機器室、暗室など)の実験室への立ち入りは「密」ならないように時間帯をずらして使用する(最大2人が目安)。
- 9.「マスク」「グローブ」を捨てるゴミ箱は一般ゴミと分別して用意する。



■「キャンパスでは ここに注意！」

〈社会学系研究室ではこんなことも〉

1. 発熱・体調の悪い人は入室せずに、健康サポートセンター（旧：健康増進センターまたは保健室）に連絡して指示を仰ぐ。
2. 対面にならざるを得ない場合や前後左右の間隔が確保できない場合は仕切り版を設置するか、フェイスシールドを着用する。
3. プレゼンを行う場合は、発表者はフェイスシールドを着用する。
4. PCは個人のものを使用し、研究室等の共通PCを利用する場合は使用前後の消毒を徹底する。
5. 資料やテキストは極力電子媒体で配布する。
6. 演習室での飲食はなるべく避け、基本は一人で。
なお、複数で食事をする場合も会話はせず、フェイスシールドを着用したり、換気に努めるなどを徹底する。



■「キャンパスでは ここに注意！」

〈講義棟〉

1. 教室の入り口でアルコールによる手指消毒をする。
2. マスク着用、場合によってはフェイスシールド着用を確認する。
3. チェッカーボード型に1台の机に一人で着席。**座席指定**があればそれに従う（濃厚接触者の判定のため）。左右は1（～2）メートルあける。
4. 教卓直下の机は利用しない。
5. 着席したら自分の机を清拭する習慣をつける。
6. 演習などで、ポインター、ホワイトボードマーカー、マイクなどを学生が共用する際は、学生が交代するごとに清拭する。
7. PCは極力個人のものを使用し、共有を避ける。
8. 授業中もなるべく窓を開けるように、ドア開けに協力を。
9. 授業終了後は必ず10分間換気する。
10. 廊下や階段での三密を避ける。
11. エレベーターの利用を極力避ける。
12. マスクに触ったり、いろいろな人と接触した後は手洗いあるいはアルコール消毒をする。



■「キャンパスでは ここに注意！」

一番気を付けるのは 会食！

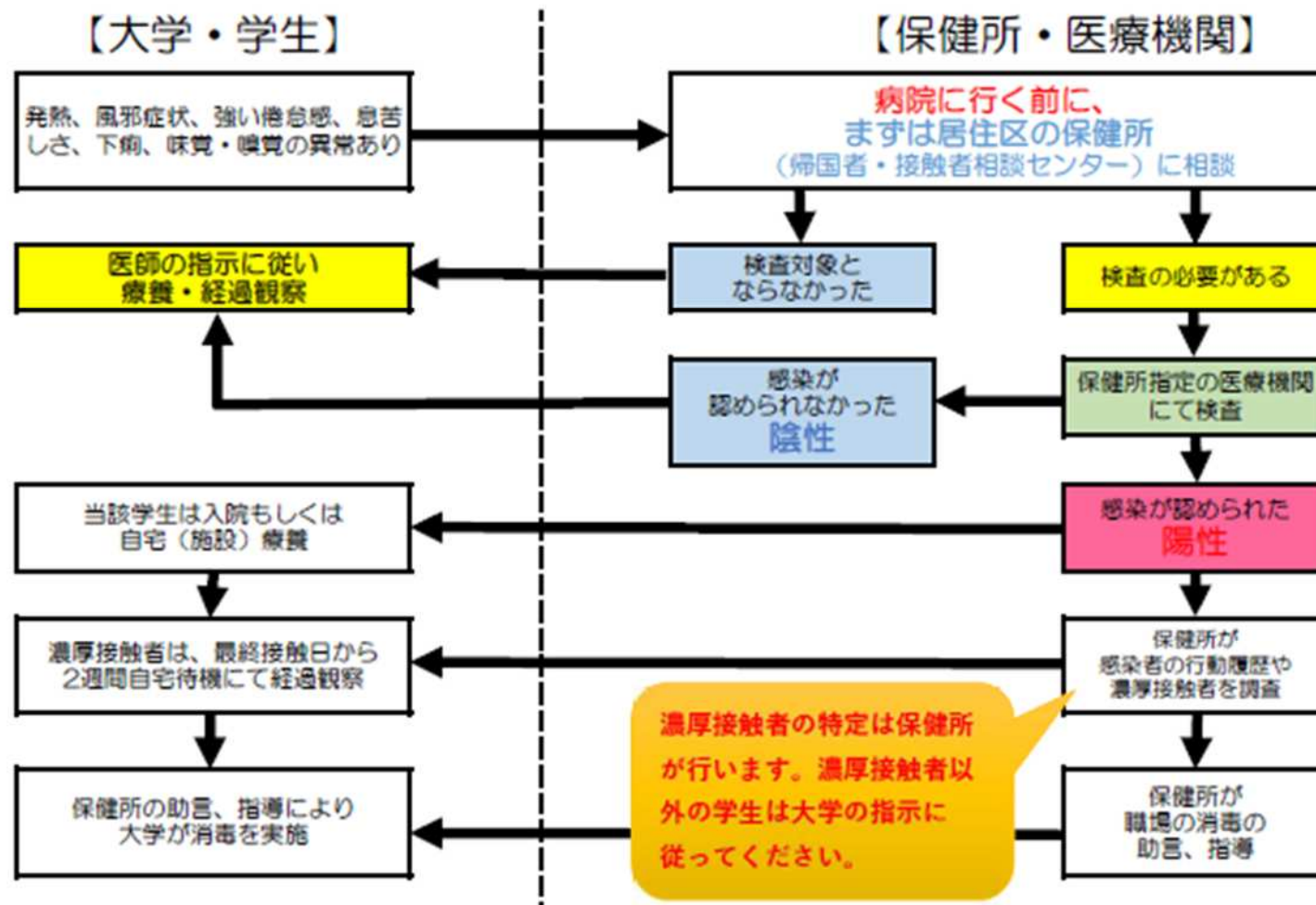
複数のメンバーでの会食は自粛してください。
大学生のクラスター発生は、コンパなど会食が一番の原因。
友だちと食事したい！飲みたい！でも、もう少し我慢しましょう。

キャンパス内の食事も、広い場所で対面を避け、
一人で食べてください。

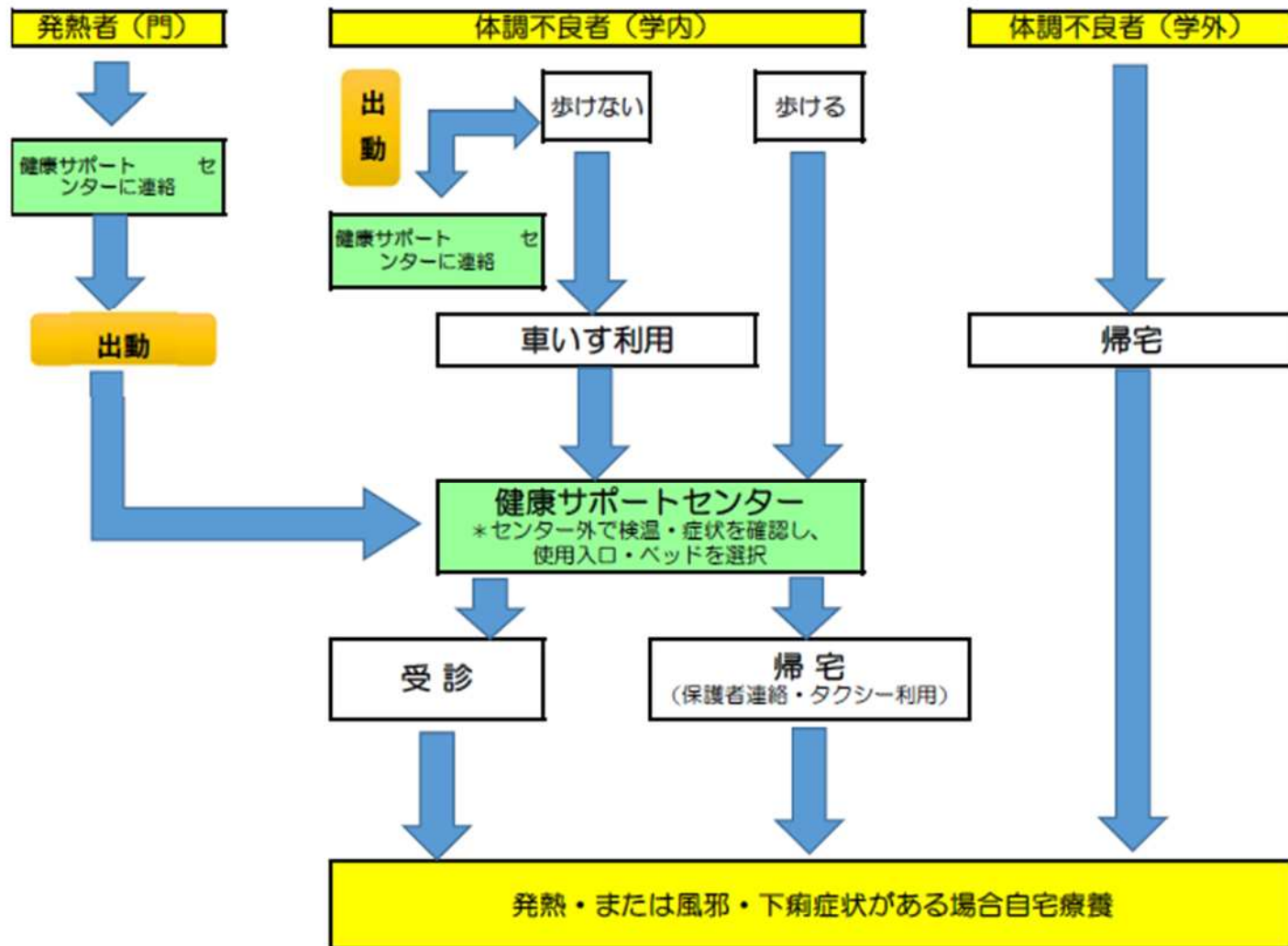
食事が終わってからマスクを着け、
机もティッシュで拭いてから、会話を
少しでも楽しみましょう。
とはいえ、大声での会話は厳禁です。



■ 「キャンパスでは ここに注意！」 <感染の疑いが発生した時はどうなる？>



■ 「キャンパスでは ここに注意！」 <体調の変化に気がついた時は>



■「知っておきたい」 <感染症対策 手洗いとマスク>

!

感染症対策

へのご協力をお願いします

新型コロナウイルスを含む感染症対策の基本は、「手洗い」や「マスクの着用を含む咳エチケット」です。

①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に

・爪は短く切っておきましょう

・時計や指輪は外しておきましょう

① 流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

② 手の甲をのばすようにこすります。

③ 指先・爪の間を念入りにこすります。

④ 指の間を洗います。

⑤ 親指と手のひらをねじり洗います。

⑥ 手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット 3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まるところでやろう

マスクが
ない時

マスクを着用する
(口・鼻を覆う)

ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う

袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用

① 鼻と口の両方を
確実に覆う

② ゴムひもを
耳にかける

③ 隙間がないよう
鼻まで覆う

NG例:

- 何もせずに咳やくしゃみをする (X)
- 咳やくしゃみを手でおさえる (X)

首相官邸
Prime Minister's Office of Japan

■ 詳しい情報はこちら

厚生労働省

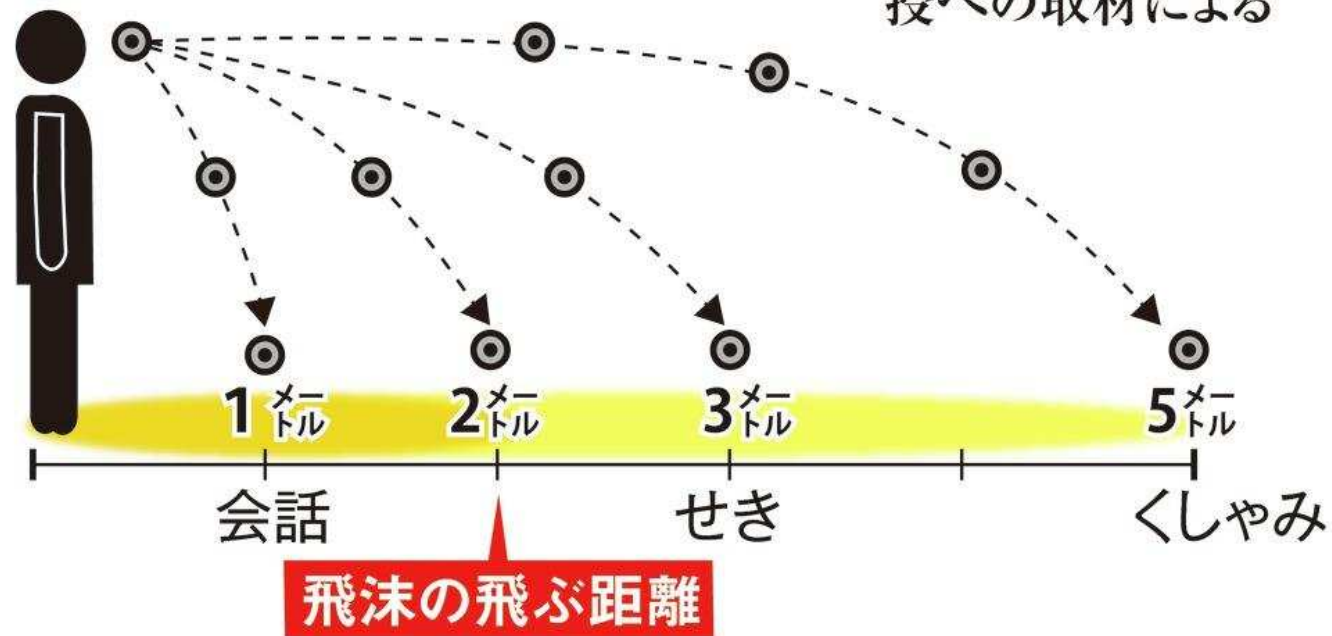
検索

■「知っておきたい」

＜飛沫の飛ぶ距離＞

「飛沫」の飛ぶ距離の目安

※斎藤玲子・新潟大教授への取材による



■「知っておきたい」 <検査の違い>

図5. PCR検査、抗原検査、抗体検査の比較表

	PCR検査	抗原検査	抗体検査
検査で判定 できること	現在、検査対象に 感染しているかどうか		過去、検査対象に 感染したかどうか
検体として 使用できる物	鼻咽頭のぬぐい液 か唾液	鼻咽頭のぬぐい液	数滴の血液
検査の難度	 検体採取時の リスクあり	 検体採取時の リスクあり	 検体採取時の リスクなし
検査の 所要時間	 6 時間程度	 20分程度	 20分程度
 利点	検査の 精度が高い	検体を採取した、 その場で検査結果を出せる	
 欠点	検体採取のその場で検査 結果を出す事が難しい	PCR検査に 精度で劣る	今、感染しているか の判定には向かない

私立大学における新型コロナウイルス感染症対策の好事例①

千葉工業大学（千葉県）

徹底した対策を実施し、対面授業を再開

○入口での検温と消毒

- ・正門前に検温所を設け、事前登録者のみ入構、全ての入構者に係員による手のアルコール消毒と、発熱者検知サーマルシステムによる検温を実施

検温所



○対面授業とオンライン授業を併用（6/22～）

- ・オンライン授業は継続しつつ、オンライン授業だけでは十分な教育効果が得られない科目等を対象に、対面授業を再開
- ・対面授業と自宅学修を組み合わせた融合型の授業やグループ分けによる分散化などの工夫で少人数での対面授業を実施、教室の消毒・換気、マスク着用等を徹底、校舎は可能な範囲で一方通行化
- ・科目によっては、対面授業をオンラインでもリアルタイムで中継するなど、大学への登校が難しい学生へも配慮
- ・同じ日にオンライン授業と対面授業が混在しないよう、教職協働で時間割の組み換えを実施

○実習授業・学生食堂など密になりやすいシーンでも工夫

- ・製図の授業では、席をあけてソーシャルディスタンスに配慮
- ・学生食堂ではテーブルに間仕切りを設置しマスク入力を配布、空席を設け着席位置を指定、次の利用者の着席前に除菌清掃を実施

対面での製図の授業



学生食堂



エリザベト音楽大学（広島県）

実技科目も工夫して、対面で実施

○飛沫を防ぐパーテーションによる、対面レッスン再開（6/1～）

- ・実技レッスンにおいて、飛沫防止用のパーテーションを導入
- ・高さ2メートルのパーテーションの正面部分には透明なフィルムが張られ、学生の演奏技術や音を指導者が直接確認
- ・オンラインでは、音の強弱、音質や音色など微妙な音の違いを正確に聞き分けることが難しいことから生み出された工夫

学生からの風景



先生からの風景



○音楽大学ならではの工夫

- ・全学生に対して、携帯用アルコールジェル、合唱用マスクを配布
- ・ピアノ鍵盤用拭取りクロスを、学内全てのピアノに備付
- ・理論系科目では、オンライン授業の活用や、ホール等の広い教室を活用して対面授業を実施
- ・実技系科目も、オンラインレッスンを活用してできる限り実施

オンラインレッスン



※文部科学省において、大学の取組内容を聞き取りの上作成。

■「知っておきたい」 <他大学の感染防止対策>

私立大学における新型コロナウイルス感染症対策の好事例②

同志社大学（京都府）

コロナ対策を体系的・段階的に実施

- 秋学期開講に向け、移行期間を設定して段階的に再開（6/1～）
- ・秋学期以降は、WITHコロナに対応し、ネット配信授業を併用しながら対面授業を再開する予定
- ・感染症拡大防止の観点から、大学独自でガイドラインを策定し入構可能な対象者や使用可能な門扉を段階的に拡大
- ・図書館や学習室等の学習に関する施設の利用のみでなく、正課外活動の実施や食堂・購買等の利用についても、ガイドラインで方針を周知し、段階的に再開

同志社大学におけるキャンパス入構に関する段階的な対応

フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	フェーズ4
6/1～7/9	7/10～7/27	7/28～8/31	9/1～9/20
【一部入構可】 卒業論文等の指導、不可欠な実験(大学院生)の実施 等	【一部入構可】 期末レポート等の準備、研究活動、許可を得た正課外活動の試行 等	【一部入構可】 実験・実習等を補完するための対面の取組、期末試験の受講 等	【入構制限なし】

- 入構におけるルールの周知・徹底
 - ・学生及び教職員向けに、出校可否を判断できるよう、フローチャートを作成
 - ・キャンパス入講者に、新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)等のインストールや、行動履歴の自己記録などの対応を求める
- 感染者が学内で発生した場合の対応基準を作成

関西国際大学（兵庫県）

コロナだからこそ、学生の気持ちを尊重

- 対面・オンラインは学生自身が選択し、学生の気持ちを尊重（6/1～）
- ・春学期末までの間、授業の受講方法についてキャンパスでの対面授業、ZOOMによる遠隔授業を自己判断で事前登録が可能
- ・対面授業を選択した学生には受講許可証を配布
- ・移動中の感染防止のため、一部区間でスクールバスを増便、無料化

対面授業では透明の仕切りを用意



サーモグラフィでの検温



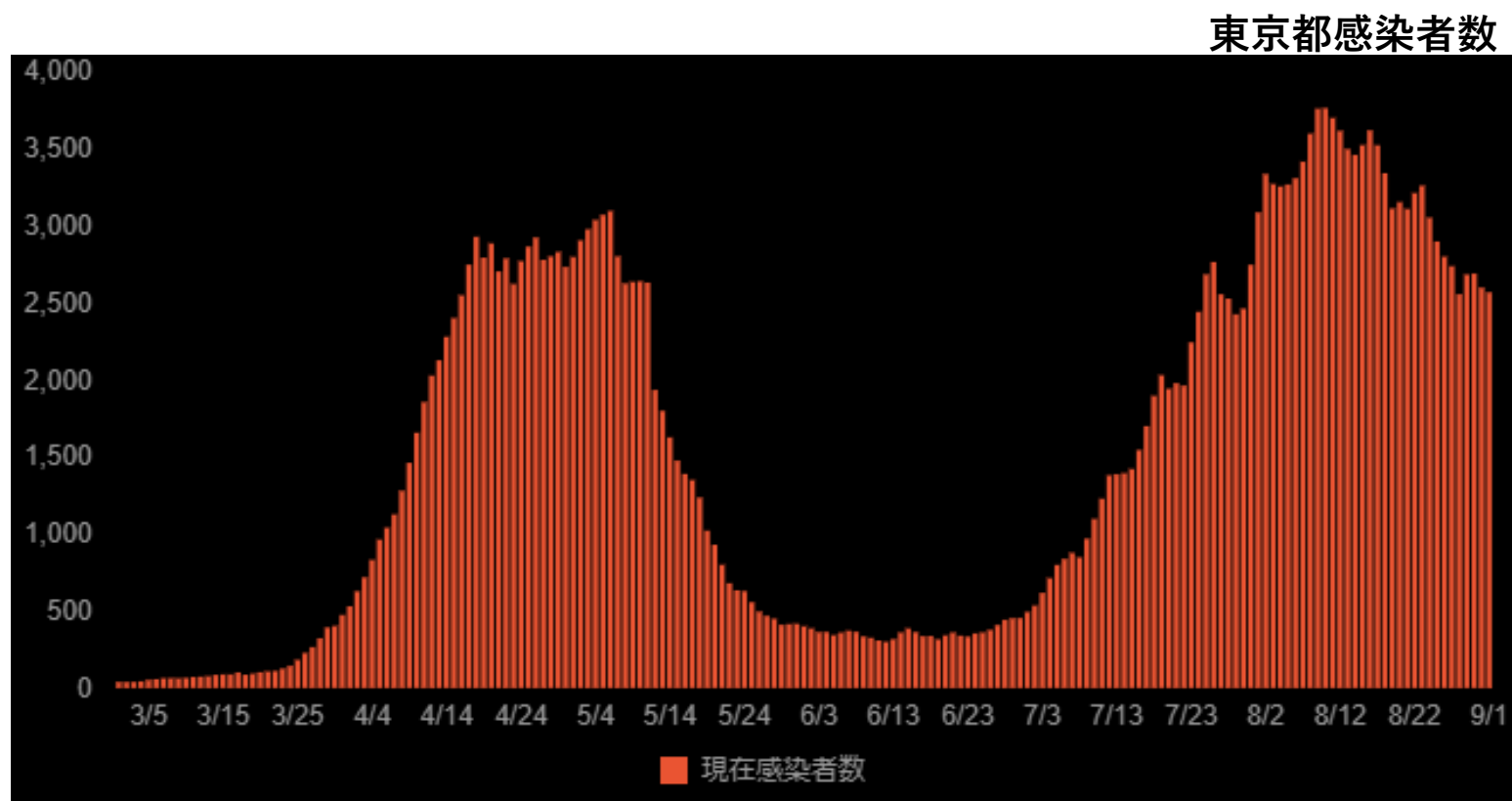
- 学生の「困りごと」を踏まえた新たな措置
 - ・5/6～5/8に「学生状況調査」を実施し、学生の「困りごと」を踏まえた新たな取組を実施
 - ・送料・大学負担による図書館の貸し出しサービスを開始
 - ・パソコンもしくはWi-Fi受信のためのルーターを持っていない学生には、無償貸出（春学期末まで）
 - ・国やJASSOの制度適用からもれた延納・分納手続き者に対し、大学独自の奨学金を新設
 - ・当座の生活費の支払いが困難な学生に対し、最大10万円緊急貸付
- WITHコロナ時代を題材とした学びの展開
 - ・「新型コロナウイルスが社会をどう変えたか、変えるか」をテーマに、連携大学の教職員・学生とグループでオンラインによる体験学習を開始

※文部科学省において、大学の取組内容を聞き取りの上作成。

■「知っておきたい」

＜感染者の推移 2020年9月2日現在＞

エリア	現在感染者数	新規感染者数	累計感染者数	死亡者数	退院者数
東京都内	2,565	170	20,987	364	18,058
日本国内	9,470	633	69,150	1,314	58,366



■「知っておきたい」
〈大学でのクラスター〉

大学名	時期	状況	感染者数
三重大学	4月上旬	学生グループ	23名
中央大学	7月中旬	運動部寮内	11名
中部大学	7月中旬	運動部寮内	6名
天理大学	8月中旬	ラグビー部員	59名
信州大学	8月下旬	会食	14名
奈良県内の大学	8月中旬	非公開	20名

＊各種メディアで報道された、大学の新型コロナウイルス感染症クラスター事例

「農」の進化に、挑み続ける



過去において世界的な感染症の蔓延は、世界を大きく変え、歴史を動かすきっかけになりました。今回の新型コロナウイルスの世界的蔓延の前後では世界が大きく変化し、我々はこれまでの思考や行動を変えなければならない可能性に直面しています。

経済優先や資源獲得競争、生存環境破壊など、人類が今抱えている課題を解決するために、東京農大が積み重ねてきた農生命科学の果たす役割は大きなものがあります。「アフターコロナ」の人類社会に貢献する活動を続けましょう。



すくう人。「環境学生」

農 東京農業大学